



尚徳福祉会 生麦保育園

2018年度 1月号

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、「あけましておめでとうございます！」と挨拶をし、また元気な姿で登園してくれてた子どもたち。年末年始何をしたのか、どこに行ったのかなど保育士や友だちとの会話に華を咲かせていました。

2019年は年号が変わり、小学校入学を始め子どもたちにとっていろいろなことが起きる1年になると思いますが、その中でいろいろなことを経験し、学び、成長に繋げていってほしいです。生麦保育園での生活は残り3か月。就学に向けて、不安より期待を大きく持てるようにしながらぞう組での活動を楽しみ、たくさん思い出を作っていきたいです。



ぞう組の部屋や自分のロッカー、下駄箱の大掃除をしました。部屋を綺麗にして新しい年を迎えることの意味を子どもたちに伝えましたが、少し難しかったようです。「汚いよりは綺麗な方が気持ちいい」という気持ちは持っていて、まずは自分たちのロッカーの掃除から取り掛かりました。ぬり絵や折り紙など今まで作ってきて、しまいっぱなしにしていた物を、「いる・いない」を自分で判断して持ち帰り、ロッカーを拭きました。黒くなる雑巾に「こんなに汚れてたんだ」と見た目にはわかりづらい汚れがあることを発見していました。部屋では玩具の整理を中心に行い、「ここにはこのおもちゃがある」ということを子どもたちと確認しながら整理しました。他のクラスの子たちも使うぞう組の部屋ということで、ぞう組の子どもたちが率先して片付けをしないとあつという間に散らかってしまうことを伝えると、気付いたときに片付けを意欲的に手伝う姿が見られるようになりました。

コマ回し

数名の男の子たちの間で夢中になっていたコマ回し。紐は上手に巻けるのになかなか上手く回せず、何度も諦めずに挑戦していました。ぞう組の押入れに新品のコマがあり、出してみると「新しいコマだー！」と目を輝かせていました。新しいコマで挑戦してみると一回で回すことができ、そこからはほとんど失敗することなく回すことができるように。それを見ていた他の子たちも「やってみようかなー」とコマを手にとっていました。一人から二人、二人から三人と挑戦しようとする子が増えて、安定して回せるようになると今度は「勝負しようぜ！」と喧嘩ゴマやどちらが長く回せるかという遊びに発展させていました。男の子だけでなく、女の子も負けじと自分たちで椅子を並べてはコマ回しをするコーナーを作り、「先生！見て一回ったよ！」「あれ、さっきは回ったのにー」と一喜一憂しながらコマ回しに挑戦していました。

1月は高砂会の方々との交流で、正月遊びを一緒に楽しむ機会があります。おじいちゃんおばあちゃんにコマを回せるようになった姿を見せてほしいです。

☆お知らせ☆

・1月24日(木)に生麦小学校との交流会があります。上履きが必要となりますので準備をお願いします。後日、時間等お知らせを掲示させていただきます。

・1月26日(土)9:30~11:00 ぞう組にて懇談会があります。先日配布したぞう組懇談会のお知らせの出欠を11日(金)までに提出をお願いします。

